

# 誰だこいつら!

Team Okuyama  
PRESENTS

HITOSHI OZAWA/TAKASHI UKAJI/SHU EHARA/KAZUYOSHI OZAWA as TJ

HIROSHI MIYASAKA/MASAHIRO YAMASHITA/RYUSHI MIZUKAMI/MIYUKI TAKANO

DIRECTOR of PHOTOGRAPHY: TAKESHI KOGA/PRODUCTION DESIGNER: TAICHI NISHIMURA

MUSIC by TORSTEN RASCH/PRODUCTION SUPERVISER: HIROSHI KASHIWABARA

SCREENPLAY by ATSUSHI MUROGA & TOSHIMICHI OHKAWA

EXECUTIVE PRODUCER: KAZUYOSHI OKUYAMA/DIRECTED by ATSUSHI MUROGA

# SCORE

## 「スコア」

(獲物・計画・襲撃)

いずれ劣らぬ凄腕7匹  
奪った宝石100万ドル  
ひとり占めならなおデカい!

玉砕覚悟の争奪戦!  
裏切り! 捜問! 皆殺し!

製作: 奥山和由 監督: 室賀厚 主演: 小沢仁志

主題歌: "The Good Thing" D.G.G.  
© 1990 ECHOCHUKU DICI KOGYO CO., LTD.  
DICI DAIRYO CO., LTD.  
配給: 松竹音楽株式会社

# プロデューサー奥山和由のもとに集結した



## 全く無名のスタッフ陣

### INTRODUCTION

プロデューサー奥山和由のもとに集結したまったく無名のスタッフ陣。地位も名譽も無縁の奴らがあきれる程に面白い映画を作りあげた／使った金は3000万、撃った弾丸3000発／誰もがブツ飛ぶ超エンターテインメントの登場だ／強奪された大量の宝石をめぐって、いずれおとらぬ悪党どもが徹底的に殺し合う地獄の90分。“面白けりやなんでもヤル！”若さ溢れるパワー全開、何者をも恐れないアクションの連続にはあいた口が塞がらない。知力C級、体力A級、かつてこれほどパワフルに突っ走った日本映画があつただろうか／主演は「ビーバップハイスクール」「3-4X10月」等の小沢仁志。鍛え抜いた肉体を武器にスクリーン狭しと暴れ回る様はまさに圧巻。

しかも彼はこの映画のプロデューサーも手掛けている。

映画デビュー作となる監督の室賀厚を含め、主要スタッフはたったの8名。中には現役大学生も含まれているというからクレイジー／主題歌を唄っているのはこれまた新進気鋭のロックバンド“D.O.G.”。そして今、信じられない低予算で彼らが作り上げた完全無欠の無国籍映画に、熱い声援が届いた。あのクエンティン・タランティーノが（なんと主演の小沢仁志が予告編を自ら見せに行った！）満面の笑みを浮かべ、一言こう言ったのだ。「IT'S COOL！（スゲエ！）」。

「SCORE」は日本映画の核弾頭／奥山和由は発射ボタンを押してしまったのだが—もう誰にも止められない！

## 地位も名譽も無縁の奴らが

### STORY

東南アジアとおぼしき某国。州立刑務所から一人の日本人が仮釈放となった—チャンス（小沢仁志）。彼の釈放を裏で操作していたのは大佐と呼ばれる男（宇梶剛士）であった。大佐は多額の保釈金を負担した代わりに、連続強盗犯のチャンスを自分の意のままに利用して行く。それまで一匹狼で通してきたチャンスにとって、飼い犬の立場はヘドが出そうな屈辱であった。

チャンスに次の指令が来た。獲物は宝石店。「この仕事が片づけばお前は自由だ」という大佐の言葉に納得し、チャンスは準備に取りかかった。計画遂行のために3人の仲間が集められた。チャンスの昔からの強盗仲間である北京ダック（山下真弘）、ライトと名乗る口の減らない男（水上竜士）、ニヒル二枚目テキーラ（江原修）。

周到な計画のもと宝石店襲撃は成功する。4人は奪った宝石類を持ち、町外れの廃工場に身をひそめ大佐の到着を待った。だが、やってきたのはとんでもない奴らだった—キレたアベック、T.J.（小沢和義）と沙羅（高野みゆき）だ。二人は宝石を横取りすべく無茶苦茶な攻撃をしかけてくる。強盗4人、武装したカップル、やがて到着する大佐率いる殺し屋（宮坂ひろし）たち。謀略と裏切りが交錯する三巴の戦いは、血で血を洗う壮絶な死闘へと発展して行く。玉砕覚悟の争奪戦、果たして生き残る者はいるのか？

### 監督 室賀厚はこんな奴!!

小学生ですでに8%を監督していたという映画馬鹿。大学卒業までに撮った自主映画は11本、ビデオメーカーに就職後も16%で「HELP ME！」を完成、89年には集英社ビジネス・ジャンプ映像コンクール・グランプリをかっさらう。奥山和由をビビらせたビデオ「ザ・ワイルド・ビート／裏切りの鎮魂歌」の製作費ははったの500万／3000万を手にした今回のテーマは“やりたいことは全部ヤル”。今年31歳、タランティーノを葬るのはコイツしかいない！

## あきれる程に面白い映画を作り上げた。



## SCORE

「スコア」  
(獲物・計画・襲撃)



チャンス：小沢仁志／テキーラ：江原修／T.J.：小沢和義／沙羅：高野みゆき／ライト：水上竜士／北京ダック：山下真広／コブラ：宮坂ひろし／大佐：宇梶剛士

製作：奥山和由／プロデューサー：中川好久、小沢仁志／監督：室賀厚／脚本：室賀厚、大川俊道／撮影：古賀賛

音楽：トルステン・ラッシュ（サントラ盤・日本コロムビア）／企画協力：柏原寛司／主題歌：「Feel Good Tonight」D.O.G.（イーストウェストジャパン）

提供：松竹第一興行株・バンダイビジュアル株／配給：松竹富士株式会社

インターネットのURLはhttp://www.mmp.or.jp/shochiku

新春第2弾 1月27日(土)ちロードショー！

特別鑑賞券 一般¥1500/学生¥1300発売中

有楽町マリオン9F

丸の内ピカデリー2 (3201) 03-2881

連日 11:00 1:00 3:00 5:00 7:00